

2022 年度第 2 回日本技術士会埼玉県支部役員会議事録 (案)

日時	2022 年 06 月 18 日 (土) 9:00~11:30		
場所	新都心ビジネス交流プラザ B 会議室		
役員 (敬称 略)	出席者 (五十音順 □出席、◇委任状出席、◆欠席) 総数: 25 名 (内出席: 18 名、委任状提出者 6 名) □石田正雄 ◇出森公人 □黒澤兵夫 □小柳直昭 □近藤訓 □近藤孝 □佐藤佳則 □穴戸富雄 □白岩信裕 □菅原宏 ◇高橋正人 □中田よしみ □荻本信一 ◇浜端英男 ◇速川敦彦 □平松達生 □藤田賢二 □増古恒夫 □松本良一 □村山肇 ◆森永清 ◇山田敏広 □横山正巳 ◇若井一顕 □若林直樹		
配布資料	資料 1	2022 年度第 1 回日本技術士会埼玉県支部役員会議事録	P1~3
	資料 2	新型コロナウイルスへの対応方針 (統括本部資料)	4~5
	資料 3	賛助会員及び地域組織協賛団体合同での懇親会 (オンライン) 開催のご案内 (統括本部資料)	6
	資料 4	大阪府でのものづくり支援における技術士活用方策についての意見交換 (メールのやり取り)	7~9
	資料 5	埼玉県支部委員会委員の異動の件	10, 22
	資料 6	2022 年 5 月次会計収支について	11
	資料 7	2022 年度 (公社) 日本技術士会埼玉県支部 5 月次決算書	12
	資料 8	埼玉県支部創立 10 周年記念事業実行会の活動結果報告	13
	資料 9	2022 年度埼玉県支部「年次大会・技術士試験合格者祝賀会」プログラム案	14
	資料 10	地域活性化委員会報告	15
	資料 11	総務企画委員会活動報告	16~17
	資料 12	CPD 委員会報告	18
	資料 13	科学技術振興委員会 (報告)	19~20
	資料 14	地域産業支援委員会活動報告	21
議 題	<p>(1) 出席者の確認および委任状提出者の確認 (白岩委員長) 出席者の確認を行い、出席者 18 名、委任状出席 6 名、欠席 1 名であることを確認した。</p> <p>(2) 議事録署名人と議事録作成者の確認 議事録署名人を平松達生幹事、藤田賢二幹事とし、記録作成者を村山肇幹事とすることが承認された。</p> <p>(3) 前回議事録の確認【資料 1】 (白岩委員長) 第 1 回役員会議事録は、すでに役員間でメール審議、承認、県支部 HP 掲載済み。</p> <p>(4) 支部長挨拶 (若林支部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康を害し、役員会開催が 2 週間延びたことへのお詫び表明がなされた。 ・支部創立 10 周年記念式典が無事終了したことに対し、関係者皆様のご支援に感謝する、と話された。 ・【資料 2】: 統括本部からの「コロナ対策方針」についてその内容の説明がなされた。 ・【資料 3】: 「地域組織協賛団体オンライン合同懇談会」の開催案内が支部長の手元に届いたのが、5/26 (開催 1 週間前)。支部協賛会社各社に案内するには時間があまりにも短く、従って埼玉県支部としては「(株)日さく」1 社のみ参加となった。 ・【資料 4】: 埼玉県支部の日ごろの地域活動 (特に「理研」) が評価されたと思われ、大学などの研究機関と技術士の協働で、研究成果の事業化を図った事例を報告するよう「大阪府のものづくり支援」についての「7/21or7/22 オンライン会議」への参加を要請された。埼玉県支部としては、若林支部長と近藤副支部長が参加の予定と報告された。 ・2021 年度支部活動功労者会長表彰について、埼玉県支部より 3 名を推薦し全員が表彰された。表彰された 3 名 (菅原宏氏、穴戸富雄氏、村山肇氏) よりお礼の挨拶があった。 <p>(5) 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会委員の異動の件【資料 5】 		

地域産業支援委員会及び地域活性化委員会から、委員異動の提案があり、承認された。

(6) 報告事項

1) 2022年5月次会計収支・決算について【資料6,7】

菅原幹事より資料に基づき説明、報告があった。

2) 支部創立10周年記念行事結果報告【資料8】

白岩委員長より結果と今後の対応の報告があった。

- ・無事終了できた、実行会による反省会を6月中に実施する。
- ・記念事業の検討経緯と結果を、ファイル形式だが記録として残すようにする。
- ・梶田先生の講演は、いずれ 統括本部のWeb 上で公開する。
- ・支部創立10周年記念誌のダウンロード案内を埼玉県支部HPへ掲載した。掲載は12月末までであり、ダウンロードするにはPWが必要である。(知らないという意見も出されたので) 再度会員へ「見るためのPW等」を連絡する。
- ・記念誌の配布状況は、印刷部数600部に対し現状約半分を残している状況。配布については年次大会をはじめ、商工会活動など今後の配布予定を積み上げていく必要があるとの意見が出された。
- ・収録した「ビデオ」は、「DVD」「mp4」を支部として保管管理する。
- ・本報告を月刊『技術士』に投稿したらどうかの意見が出され、統括本部広報委員会の委員である石田正雄幹事に掲載方法等を確認してもらうこととした。

3) 年次大会・技術士試験合格者祝賀会プログラム案【資料9】

- ・年次大会で、支部長による10周年記念行事報告を、支部活動方針の後に行う。
- ・現時点、技術士試験合格者の参加要望は5~6名と、CPD委員長から報告があった。

4) 委員会活動報告

① (2022年5月度) 地域活性化委員会報告【資料10】

北部地域：小柳小委員長より、記念誌は現時点87部配布済みと報告があった。

パソコンの管理基準（利用記録など）を作成したとの説明があった。これに対し、地域毎の事情に合わせて設定したいとの意見が出された。

西部地域：近藤訓小委員長より、CPD行事は9/24の日程を10/1に変更、講演テーマは「コロナ後のSDGs」に決定。さらに次のテーマとして「地熱利用」を考えていると説明された。

11月の「川越産業フェスタ」への地域小委員会としての参加は、西部小委員会で展示内容、フェスタの詳細を明らかにした上で役員会の承認が必要となる。応募時期を考慮し、幹部会(7月開催)にて出展可否を判断するので、説明、企画等の資料提出を急ぎ実施する。

東部地域：平松小委員長より、CPD行事を10/16にオンラインで実施することにし、テーマは「下水道の資源化」とする旨報告があった。

② 総務企画委員会活動報告【資料11】：白岩委員長

- ・埼玉県支部で導入した4台のPCについての保管状況について説明。使用にあたっては、PCにはデータは一切残さず誰もがアクセスして使えることを基本とする、と報告があった。
- ・SKIP事務所のINS電話回線使用権については問題を解決した。そこで次のステップとして「光回線」の導入を図るべく検討中との報告があった。

③ CPD委員会報告【資料12】：増古委員長

- ・技術士制度説明資料（PPT）は、3部構成（一般・大学・JABEE）の概要がほぼ完成したが、大学向けは大学別に編集が必要との説明がなされた。特に東洋大学における学生への技術士制度説明は積極的なかかわりかたが優れていると説明された。
- ・6/17にWeb参加した「埼玉大学産学官連携協議会の定期総会」の内容について報告があった。

④ 科学技術振興委員会【資料13】：中田委員長

- ・7/31開催予定の理科教室は、「よく飛ぶ紙飛行機」をテーマに、募集内容は5名一組10組までとして準備していると報告された。
- ・8/1~4の間で、わくわく子どもの家（南浦和/学童保育所）から理科教室開催の要望あり、検討中との報告があった。

⑤ 地域産業支援委員会活動報告【資料14】：近藤孝委員長

- ・防災支援活動について松本幹事より、7月中旬以降に防災支援グループで、DIGのリハーサルを予定。立正大学でのDIG参加者は、30名から40名の見込みとの報告があった。
- ・VCADシステム研究会への支援、商工会議所からの審査員募集、中小企業119への登録申請状況、外部からの技術士紹介依頼の状況について説明があった。

次回
会議

2022年度第3回日本技術士会埼玉県支部役員会 2022年08月06日(土) 9:30~12:00
武蔵浦和コミュニティセンター 第1集会室